

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。国内では新型コロナウイルス感染症が小康状態にありますが、海外においては未だ予断を許さぬ厳しい状況が続いている国・地域が多くあります。当社は引き続き、安全と健康を第一に製品の安定供給に努めてまいり所存です。

さて、ここに当社第94期中間株主通信をお届けいたします。ESG経営を重要テーマに掲げる当社では、環境配慮の観点から、紙面の一斉郵送を取りやめ、ウェブサイトでの開示といたしました。出来ることから一つ一つ着実に実行し、当社は持続可能な社会の実現に向け、世界中の皆様から必要とされるグローバルカンパニーを目指してまいります。株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長

酒井 肇夫

## 全体概況について



(注1) 第92期は、在外連結子会社19社の決算期変更をしたことに伴い、当該連結子会社は2019年1月1日から2020年3月31日までの15カ月を連結した変則決算となっております。  
(注2) 第92期第3四半期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、第92期第2四半期に係る各数値については、その会計処理の確定内容を反映させております。

当第2四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症の再拡大がみられましたが、各国でワクチンの普及を背景に、経済活動の再開が図られたことから、需要の回復が進みました。一方、パームや大豆などの原料価格につきましては、経済活動再開に伴う需要の回復期待に加え、代替エネルギーとしての需要拡大への期待が続いていることから、高止まりの状況が続いています。

日本におきましては、9月末まで緊急事態宣言等の発令が行われましたが、経済指標などが改善傾向であるなど、景況感の改善が進んでいます。米州及び欧州におきましては、米国でのサプライチェーンの混乱や労働人員不足は続いているものの、景況感の改

善が見られ、需要の回復が続いています。東南アジアにおきましては、新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響により、景況感の回復は緩やかとなっております。また、中国におきましては、原料高の影響などがありますが、需要は底堅く推移しております。

当連結会計年度は、前連結会計年度までの中期経営計画「Towards a Further Leap 2020」(2017-2020)で未達であった施策の再取り組み及び、翌年度から始まる新中期経営計画に向けた重要な期間であるという認識とともに、グループ一丸となって企業価値向上の取り組みを進めております。

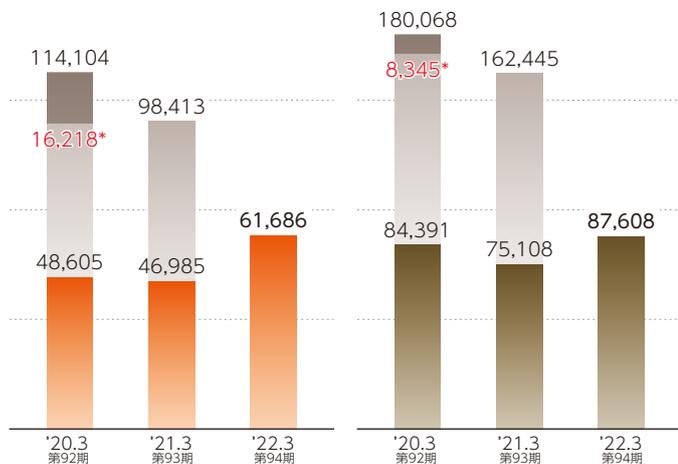
以上の結果、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、ご覧のとおりとなりました。

事業別概況について

植物性油脂事業

売上高

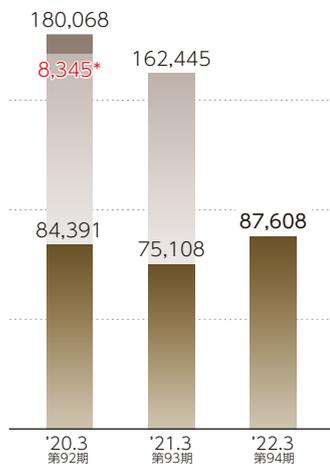
■ 第2四半期(累計) ■ 通期 \*変則決算影響額 (百万円)



業務用チョコレート事業

売上高

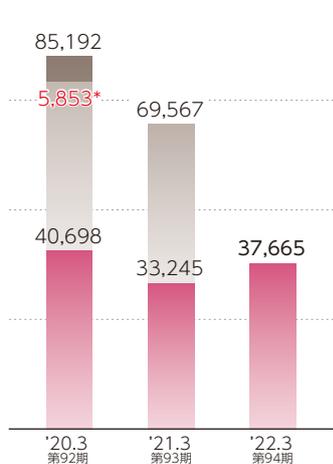
■ 第2四半期(累計) ■ 通期 \*変則決算影響額 (百万円)



乳化・発酵素材事業

売上高

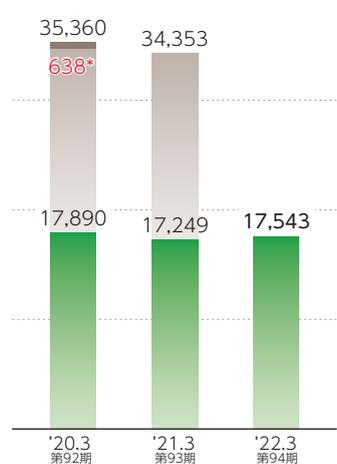
■ 第2四半期(累計) ■ 通期 \*変則決算影響額 (百万円)



大豆加工素材事業

売上高

■ 第2四半期(累計) ■ 通期 \*変則決算影響額 (百万円)



(注) 第92期は、在外連結子会社19社の決算期変更をしたことに伴い、当該連結子会社は2019年1月1日から2020年3月31日までの15ヵ月を連結した変則決算となっております。

植物性油脂事業

連結売上高構成比

30.2%

売上高は、主原料のパームの価格上昇に伴う販売単価の上昇に加え、新型コロナウイルス感染症の影響からの回復による販売数量の伸長により、大幅な増収となりました。利益面では、原材料価格高騰への対応に加え、経済活動の再開による販売数量の回復、欧州でのチョコレート用油脂の販売数量の伸長などにより増益となりました。

業務用チョコレート事業

連結売上高構成比

42.8%

売上高は、販売数量の増加などにより大幅な増収となりました。利益面では、販売数量の増加による増益効果はあったものの、前年同期に計上したBlommer Chocolate Companyの先物益の剥落により微減益となりました。

乳化・発酵素材事業

連結売上高構成比

18.4%

売上高は、国内連結子会社の連結除外に伴う売上高減少の影響はありましたが、販売数量の回復により増収となりました。営業利益は、東南アジアでの原材料高や工場統合による費用増加などの影響はあったものの、日本での販売数量の回復により増益となりました。

大豆加工素材事業

連結売上高構成比

8.6%

売上高は、大豆たん白素材などの堅調な販売に加え、前第2四半期連結会計期間に稼働を開始した千葉工場の寄与により、増収となりました。利益面では、千葉工場や欧州新工場建設に伴う費用先行や大豆の原料高の影響により、減益となりました。

## 会社 & 株式情報について

### 会社概要 (2021年9月30日現在)

設立	1950年(昭和25年)10月
資本金	13,208百万円
全グループ従業員数	5,706名
不二製油グループ本社従業員数	144名

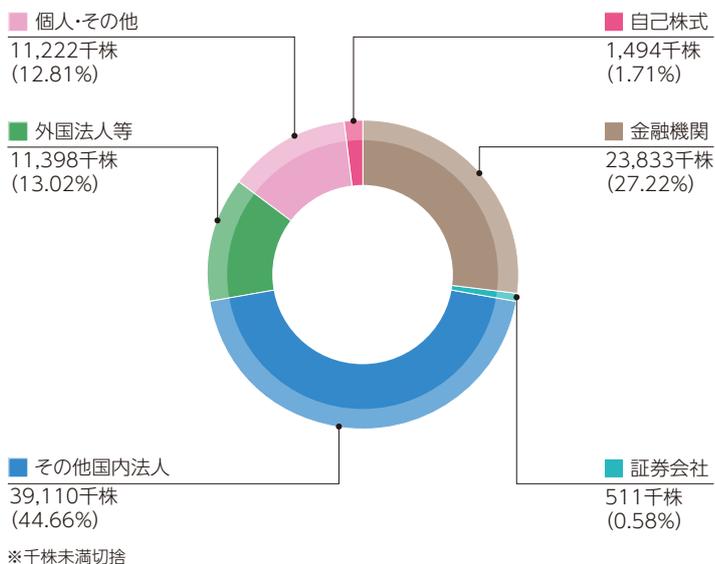
### 役員 (2021年9月30日現在)

代表取締役社長	酒井 幹夫
取締役上席執行役員	松本 智樹
取締役上席執行役員	門田 隆司
取締役上席執行役員	高杉 豪
社外取締役	上野 祐子
社外取締役	西 秀訓
社外取締役	梅原 俊志
社外取締役	宮本 秀一
常勤監査役	澁谷 信
常勤監査役	角谷 武彦
社外監査役	魚住 隆太
社外監査役	池田 裕彦

### 株式に関するご案内

下記当社ウェブサイトをご覧ください。  
<https://www.fujioilholdings.com/ir/stock/>

### 所有者別株式分布状況 (2021年9月30日現在)



## 株主優待

### 1. 対象となる株主様

毎年3月31日現在の当社株式100株以上ご所有の株主様

### 2. 優待品発送時期

毎年11月上旬頃

### 3. 優待品保管期限

転居や不在により、お受け取りいただけなかった優待品は、**12月末日**まで当社で保管しております。再発送のご依頼は、お早めに下記当社株主優待お問い合わせ窓口へお申し出ください。なお、上記保管期限経過後の再発送はいたしかねますので、ご了承ください。

### 4. お問い合わせ先

当社株主優待お問い合わせ窓口

**フリーダイヤル 0120-651-563**

受付時間 10:00～17:00(土曜・日曜・祝祭日を除く)  
 年末年始休業日:12月29日～1月4日

### 5. 優待品内容

ご所有株式数に応じて、以下の優待品を**毎年11月上旬頃**にお届けいたします。

ご所有株式数	優待品
100株以上	不二製油グループ製品詰合せ 1,500円相当
1,000株以上	不二製油グループ製品詰合せ 3,000円相当
5,000株以上	不二製油グループ製品詰合せ 4,000円相当



内容例：4,000円相当 (2021年11月発送実績)